

令和5年3月吉日

関係各位

松戸市医師会会長 川越 正平
在宅ケア委員会
担当理事 川越 正平
委員長 石島 秀紀
副委員長 高田 丈

令和5年度 第1回アウトリーチ事例検討会開催および教育セミナーご案内

時下 皆様におかれましては益々ご清栄のことと存じます。日頃より在宅医療・介護連携推進事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、松戸市医師会では、地域包括支援センター、介護支援専門員、基幹相談支援センター等の皆様が直面している解決困難な事例について、地域サポート医、専門サポート医、認知症サポート医が医療的、医学的見地から、助言や相談支援を行い、必要に応じてアウトリーチ（訪問支援）を実施しています。

本事例検討会はアウトリーチ事例のうち、令和4年度の事例について検討を行い、ご担当いただいた地域サポート医・専門サポート医、認知症サポート医、地域包括支援センターや介護支援専門員、基幹相談支援センターの方々のご経験を共有することにより、医療・介護・福祉の連携の在り方、地域の相談支援能力向上に多くの示唆を得ることが期待されます。つきましては、多くの皆様にご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

日時 令和5年4月17日(月) 午後7時から9時
開催方法 Zoom ビデオウェビナーによる Web 開催
対象 松戸市医師会会員、松戸市内で医療・介護・福祉に従事する専門職、行政等
内容 令4年度アウトリーチ事例についての報告ならびに検討
※予定事例概要につきましては、裏面をご参照ください。

申込期日 令和5年4月3日(月)

申込方法 右QRコードをスマートフォン等で読み取り申込フォームよりご登録いただくか、松戸市在宅医療・介護連携支援センターのホームページからお申込み下さい。

[\(https://matsudo-zaitaku.org/\)](https://matsudo-zaitaku.org/)

※個人での申し込みが必要です。団体での申し込みは出来ません。

※携帯会社のキャリアメール (@docomo.ne.jp など) には、当方からの返信メールが届かない場合があります。必ず (@matsudo-zaitaku.org) からのメールを受信できるように設定してください。



◎教育セミナーも企画しております。詳細につきましては、裏面をご覧ください。

【お問合せ】

事務局 松戸市在宅医療・介護連携支援センター
電話 047-701-7533 FAX 047-701-7535
担当 浮ヶ谷 松澤

令和5年度 第1回アウトリーチ事例の概要

事例①	『セルフネグレクト状態の子による親への医療ネグレクトに対し、双方にアウトリーチした事例』 相談者：明第1地域包括支援センター 小野 純子氏 専門サポート医：あおぞら診療所 北田 志郎先生
事例②	『健康状態が不明であるが介入拒否が強い8050世帯に対し、 複数回のアウトリーチでアプローチした事例』 相談者：新松戸地域包括支援センター 岡澤 志帆氏 地域サポート医：新松戸診療所 栄原 智文先生
事例③	『親亡き後の生活構築に向けた、ひきこもり独居者への支援』 相談者：小金基幹相談支援センターおんぷ 中村 知美氏 地域サポート医：ほしの在宅ケアクリニック 星野 大和先生 専門サポート医：あおぞら診療所 北田 志郎先生
事例④	『医療機関が虐待疑いとして覚知した、多問題を抱える母子世帯への支援』 相談者：松戸市子ども家庭相談課 内富 成美氏 地域サポート医：あおぞら診療所 住谷 智恵子先生

教育セミナーのご案内

過去に開催したアウトリーチ事例検討会におけるアンケートで、難易度が高く理解が難しいとのご意見を頂きました。これを踏まえ、事例検討会開始前に、理解促進の為に教育セミナー（第2弾）を開催します。

本教育セミナーは、認知症の方の事例を用いて、対応困難事例に遭遇した地域包括支援センター職員等が、支援対象者と初めて接した段階から、どういった点を観察して、どのように情報等を収集し、どのように緊急性や深刻度を見極めて、どのように支援を進めていくかを説明致します。

受講対象者の制限は特に設けておりません。介護支援専門員や地域包括支援センター職員をはじめとする相談職、介護に従事される方々は是非ご参加下さい。ことに初任者の方々には積極的にご参加くださることをお勧めします。

○日 時 : 令和5年4月17日(月) 午後6時00分から6時45分

○開催方法・申込期日および申込方法: 表面に準ずる

○内 容 : 『徘徊保護を契機に医療と介護に繋がった認知症高齢者』

事例提供者: 明第2東地域包括支援センター 海老原 香氏

地域サポート医: あおぞら診療所 住谷 智恵子先生